

令和2年6月26日

各中・義務教育学校長 様

京都府中学校体育連盟  
会長 森 淳

## 第73回京都府中学校総合体育大会実施要項 スケートの部

- 1 主 催 京都府中学校体育連盟 京都府教育委員会 京都市教育委員会  
(公財) 京都府スポーツ協会
- 2 主 管 京都市中学校体育連盟 京都府スケート連盟
- 3 後 援 京都新聞
- 4 日 時 令和2年11月14日(土)  
開会式 午前7時30分(予定) 京都アクアリーナメインリンク リンクサイド  
競技開始 午前8時00分(予定)
- 5 会 場 京都アクアリーナ  
〒615-0846 京都市右京区西京極徳大寺団子田町64番地  
TEL 075-315-4800 ※会場への大会に関する問い合わせはご遠慮ください。
- 6 参加資格  
(1) 京都府中学校体育連盟に加入し、校長の出場許可を得た生徒。  
年齢は、平成17年4月2日以降に生まれた者に限る。これ以外の生徒が参加を希望する場合は、5月20日までに京都府中学校体育連盟に申し出ること。(府中体連より日本中体連へ6月26日までに報告)  
(2) 「参加資格の特例」  
学校教育法134条の各種学校について、「別記1」のとおり大会参加を認める。  
(「別記1・京都府中学校総合体育大会における参加資格の特例」参照)  
(3) 本連盟が取得する、個人情報利用・活用等を行うことについて同意している。
- 7 外部指導者(コーチ等)  
(1) 原則として外部指導者(コーチ等)は大会に参加できる。ただし、専門部の規約や基本方針などの独自性を尊重する。この場合の外部指導者(コーチ等)は、校長が認め、大会本部に届けた者に限る。  
ア 参加規定  
当該校長が人格・指導面において適任者と認めた成人であり、顧問教師の指導計画に従い、日頃から継続して指導にあたっている者。また、各専門部の「外部指導者(コーチ等)規定」に準じ、指導任務を行うことができる。  
イ 審判について  
原則として顧問以外の外部指導者(コーチ等)の審判を認める。ただし、専門部の規定に従い大会本部が認めた者に限る。
- 8 引率者及び監督  
(1) 参加生徒の引率者・監督は出場校の校長・教員・部活動指導員とする。なお、部活動指導員は、他校の引率者及び依頼監督にはなれない。その他、外部指導者(コーチ等)については、校長の認めた者とする。  
(2) 引率者の特例  
個人種目への参加について、校長がやむを得ないと判断した場合に限り、「京都府中学校総合体育大会における引率者に関する特例」により、校長が引率者として承認した外部指導者の引率を認める。(「別記3・京都府中学校総合体育大会における引率者に関する特例」参照)  
(3) 京都府中学校総合体育大会に出場するチーム・選手の引率者、監督、部活動指導員、外部指導者、トレーナー等は、部活動指導中における暴力・体罰・セクハラ等により任命権者又は学校設置者から懲戒処分を受けていない者であることとする。(「別記4・京都府中学校総合体育大会における監督等の条件」参照)
- 9 競技規定 日本スケート連盟競技規則に基づいて行う。

10 競技種目 音楽のCDは各自持参のこと。

#	競技種目	所持級	滑走時間	課題
①	ジュニア選手権	6級以上	ショート 男女 2分40秒	ISU Jr. SP
②	男子A・女子A	5級	フリー 男女 3分	ノービスA
③	男子B・女子B	4級	フリー 男女 3分	ノービスA
④	男子C・女子C	3級	フリー 男女 2分30秒	ノービスB
⑤	男子D・女子D	2級	フリー 男女 各2分	2級
⑥	男子E・女子E	1級	フリー 男女 各1分	1級
⑦	男子F・女子F	無級・初級	フリー 男女 各1分	初級

11 表彰 各種目男女別1位には賞状・メダル，2～3位には賞状を授与する。

12 申し込み 学校からの申し込みと個人の申し込みの両方が必要である。

- (1) 学校申し込み：下記の専門部HPより「参加申込書」・「外部指導者(コーチ)確認書(校長承認書)」をダウンロードし，必要事項を入力し，10月30日(金)までに下記メールに送信すること。また，いずれもプリントアウトして押印したものを，大会当日に提出すること。
- (2) 個人申し込み：JSF myPAGEの競技会参加申込サイトから10月30日(金)までに申し込むこと。JSF myPAGEから申込できない場合は，「演技予定要素表」を下記メールに送信すること。

専門部HP：<https://kyotojhskating.org/>

メール：[yagi-m@ujc.ritsumeai.ac.jp](mailto:yagi-m@ujc.ritsumeai.ac.jp)

☆問い合わせ: **080-7859-6571** (事務局携帯)

13 全国大会出場資格

当大会は，令和3年1月30日(土)～2月2日(火)に開催される，「第41回全国中学校スケート大会フィギュア競技(以下，全中)」の京都府選手選考を兼ねる。

(1) 男子

男子6級以上の選手は，全中の参加選手制限が設定されないため，当大会での選考は行わないが，必ず当大会に「ジュニア選手権(男子)」で参加申し込みをすること。当大会への参加申し込みがない場合は，全中への参加の意思がないものと判断される。

京都府内の中学校に男子6級以上の選手が所属しない場合には，男子5級の選手から1名を選考する。男子5級の選手で，全中の選考を希望する選手は，当大会では「ジュニア選手権(男子)」で参加申し込みすること(男子Aではない。競技課題は，ISU Jr.ショートで実施すること)。

(2) 女子

(公財)日本中体連からの通知(令和2年5月29日付)により，全中女子の京都府参加選手枠が3名となった(スケート連盟推薦枠を除く)。当大会ジュニア選手権(女子)の上位3名が全中出場権を獲得する。全中の選考を希望する女子6級以上の選手は，当大会に「ジュニア選手権(女子)」で参加申し込みをすること。当大会への参加申し込みがない場合は，全中への参加の意思がないものと判断される。

14 その他

- (1) 大会に関する諸連絡は，京都府中学校体育連盟スケート専門部HPにて行う。

<https://kyotojhskating.org/>

- (2) 大会当日午前7時現在，京都市に暴風警報が発表されている場合，市中体連・専門部で協議し，決定事項を京都府中学校体育連盟スケート専門部HPに掲載する。
- (3) 特別警報が発表された場合には，すべての競技は直ちに中止する。
- (4) 台風等の状況を考慮し，事前に大会延期の判断をすることがある。その判断は，市中体連・専門部で協議し，府中体連本部が行う。
- (5) 宿泊については，専門部は斡旋いたしません。各自で手配をお願いいたします。
- (6) 会場アクセス  
阪急西京極駅より徒歩5分



## 「参加資格の特例」

### ・「別記1・京都府中学校総合体育大会における参加資格の特例」

以下に該当するもの京都府中学校総合体育大会に参加を認める。

- 1 学校教育法134条の各種学校（1条校以外）に在籍し、当該ブロックの予選及び標準記録を突破したチーム・生徒に参加を認める。
- 2 参加を希望する各種学校は以下の条件を具備すること。
  - (1) 京都府中学校総合体育大会参加を認める条件
    - ア 京都府中学校体育連盟の目的及び永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること
    - イ 生徒の年齢及び修業年限が、わが国の中学校と一致している単独の学校で構成されていること。
    - ウ 参加を希望する学校にあつては、運動部活動が学校教育の一環として、日常継続的に当該校顧問教員の指導のもとに、適切に行われていること。
  - (2) 京都府中学校総合体育大会に参加した場合に守るべき条件
    - ア 大会開催基準を守り、出場する競技種目の大会申し合わせ事項に従うとともに大会の円滑な運営に協力すること。
    - イ 大会参加に際しては、責任ある当該校校長または教員が生徒を引率すること。また万一の事故発生に備え、傷害保険等に加入するなどして、万全の事故対策を立てておくこと。

## 「引率者の特例」

### ・「別記3・京都府中学校総合体育大会における引率者に関する特例」

京都府中学校体育連盟の主催する総合体育大会は、中学校教育の一環（学校管理下）として位置づけ、府内中学生に広くスポーツを普及させるとともに、健全な中学校生徒を育成することを目的としている。このことから、生徒の大会参加に伴う引率については、当該校教員・部活動指導員であることを原則とするが、校長がやむを得ないと判断した場合に限り、以下の規定に基づき当該校教員以外（引率者としての外部指導者）の引率による大会参加を認める。

- 1 引率者としての外部指導者（以下引率外部指導者とする）の規定
  - (1) 当該校長が認めた成人であり、日頃から指導に当たっている者であること。また、事前に校長との間で、引率外部指導者としての契約がなされていること。
  - (2) 専門部からの要請があるときは、大会競技役員として大会運営に協力すること。また専門部によってはそのための資格を必要とする場合もある。
  - (3) 大会申込用紙の、引率外部指導者欄に必要事項を記入すること。
  - (4) 規定違反、不適切な言動等があったときは、不適格者として会長または専門部長から当該校の校長に連絡し、資格を取り消す。この場合、参加生徒も失格となる場合がある。
  - (5) この規定以外のことは、大会要項及び府専門部の定める規定の通りとする。
- 2 引率外部指導者の引率を認める種目は、以下のとおりとする。
  - ・陸上競技（リレーを除く）
  - ・水泳（リレーを除く）
  - ・ソフトテニス（個人）
  - ・卓球（個人）
  - ・バドミントン（個人）
  - ・体操、新体操（個人）
  - ・柔道（個人）
  - ・剣道（個人）
  - ・相撲（個人）
  - ・テニス（個人）
  - ・スキー（リレーを除く）
  - ・スケート（個人）
- 3 引率外部指導者には、監督の資格を認めない。
  - (1) この時の監督は、他校の教員とする。当該校の校長は、監督を引き受けようとする教員の所属する学校長に文書で依頼し、府専門部の承認を得ること。
  - (2) 引率外部指導者による競技上の抗議は、一切受け付けない。ただし、質問事項については、校長が依頼した監督を通して行うことができる。
- 4 生徒の大会参加に関わる責任は、法令に基づき校長が負う。

- 5 引率上の留意点及び大会会場における留意点
  - (1) 学校に該当の部が設置されていない場合、参加生徒は独立行政法人日本スポーツ振興センターの災害共済給付対象とならない場合もあるので、任意の保険に加入することが望ましい。  
(ただし、他校教員の場合は給付対象となる)
  - (2) 引率にあたっては、公の交通機関を利用すること。
  - (3) 引率外部指導者は、引率上の必要事項等について事前に当該校の校長と十分協議し、引率に必要な事項を引率生徒に指導すること。
  - (4) 専門部が定める規定を順守し、責任ある行動をとること。特に引率者として相応しくないと大会本部が判断した場合は、退場を命じる。
- 6 他校教員による引率については1 (1)、5 (1)を適用しない。
- 7 本特例は、平成15年5月20日より実施する。  
(平成26年5月2日一部改正)  
(平成30年3月2日一部改正)

## 「監督等の条件」

### ・「別記4・京都府中学校総合体育大会における監督等の条件」

京都府中学校体育連盟の主催する総合体育大会は、健全な中学校生徒を育成することを目的とし、運動部活動は学校教育の一環であると考えている。そこで、各中学校の運動部顧問及び運動部活動に関わる全ての指導者の暴力・体罰・セクハラ等の防止策について、以下のとおり監督等の条件を設ける。

なお、本連盟が対応するこれらの行為は、各顧問等の指導者が担当する運動部の活動及びその指導に関わる場面でのこととする。通常の教育活動上における生徒指導場面とは区別するものである。

#### 1 本連盟が主催する大会における監督等の条件

(1) 京都府中学校体育連盟が主催する全ての大会における引率者、監督、部活動指導員、外部指導者（コーチ）、トレーナー等（以下「指導者等」という）は、部活動の指導中における暴力等により、任命権者又は学校設置者から懲戒処分を受けていない者であること。

(2) 懲戒処分規定が及ばない外部の指導者は、校長が文書で指導を委嘱し、本ルールを事前に周知しておく。暴力等への指導措置は校長が行い、監督等の条件及び対応等は上記と同様に考える。

#### 2 本連盟による対応・処置の対象となる者

各中学校（中等教育学校及び義務教育学校を含む）に設置されている運動部で、本連盟に競技部が存在する運動部の指導者等

#### 3 本連盟の対応

(1) 暴力等により任命権者又は学校設置者から懲戒処分を受けていることが明確になった教職員は、本連盟における全ての役職を停止する

★後任の補充は、該当地区中体連会長と相談し、該当地区中体連及びブロック中体連から選出することを基本とする

(2) 暴力等により任命権者又は学校設置者から懲戒処分を受けていることが明確になった指導者等で学校の教職員以外の者は、本連盟が主催する全ての大会における指導者等への登録を禁止する

#### 4 判定及びその時期

当該校の校長が懲戒処分を確認した時点

#### 5 期 間

##### (1) 違反行為1回目

校長が確認した時点から「2年間」は、本連盟の役職停止及び本連盟主催の全ての大会における指導者等の登録を禁止する。この期間は、異動等により勤務校が変わったり、指導する運動部が変更となっても継続するものとする（1年間とは、夏季・冬季または冬季・夏季大会とする）

##### (2) 違反行為2回目

本連盟における役職及び本連盟主催の全ての大会における指導者等の「資格なし」とする

#### 6 本条件は、平成30年4月1日より実施する。

## 第 73 回 京都府中学校総合体育大会 スケートの部 種目詳細

京都府中学校体育連盟スケート専門部

### 種目詳細 ショートプログラム (ISUジャッジング・システムで採点を行う)

2020~2021 国際スケート連盟及び(公財)日本スケート連盟 競技規定による

#	競技種目	滑走時間	課 題
1	ジュニア選手権男子 ジュニア選手権女子	2分40秒	2020/2021 ISU ジュニア課題

### 種目詳細 フリースケーティング (ISUジャッジング・システムで採点を行う)

2020~2021 国際スケート連盟及び(公財)日本スケート連盟 競技規定による

#	競技種目	滑走時間	課 題
2	男子A・女子A(5級)	3分00秒	2020/2021 国内ノービスA課題
3	男子B・女子B(4級)	3分00秒	2020/2021 国内ノービスA課題
4	男子C・女子C(3級)	2分30秒	2020/2021 国内ノービスB課題
5	※男子D・女子D (2級)	2分00秒	<p>PCSは、SS・PE・INの3項目で評価する。ファクター1.8(全PC共通) 転倒1回につき0.2減点。</p> <p>a) ジャンプ要素 最大4個</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ジャンプ2個で構成されるジャンプ・コンビネーション又はシークエンスを2回含むことができる、第1ジャンプは異なった4種類を含むこと(回転数が異なっても同じ種類とする)。</li> <li>・内1つはアクセル型ジャンプでなくてはならない(ワルツジャンプは不可)。</li> <li>・同じ種類のジャンプは2個まで(回転数が異なっても同じ種類とする)。</li> </ul> <p>b) スピン要素 最大2個 レベルBで評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・すべてのスピンはフライングエントリー可。3回転未満は無価値。</li> <li>・1つは1ポジションのスピン(足換えは自由、基本姿勢で5回転以上)</li> <li>・1つはスピン・コンビネーション(足換えは自由、10回転以上)1姿勢2回転以上回転すること。</li> </ul> <p>c) ステップシークエンス 最大1個 レベルBで評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・氷面を十分に利用したステップシークエンス(StSq)</li> <li>・1/2に満たない場合は、無価値</li> </ul>
6	※男子E・女子E (1級)	1分00秒	<p>PCSは、SS・PE・INの3項目で評価する。ファクター1.5(全PC共通) 転倒1回につき0.2減点。</p> <p>a) ジャンプ要素 最大4個</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ジャンプ2個で構成されるジャンプ・コンビネーション又はシークエンスを1回含むことができる、第1ジャンプは異なった4種類を含むこと(回転数が異なっても同じ種類とする)。</li> <li>・ワルツジャンプは不可。</li> </ul> <p>b) スピン要素 最大1個 レベルBで評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フライングエントリー可。3回転未満は無価値。</li> <li>・1ポジションのスピン(足換えは自由、基本姿勢で5回転以上)</li> </ul> <p>c) ステップシークエンス 最大1個 レベルBで評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・氷面を十分に利用したステップシークエンス(StSq)</li> <li>・1/2に満たない場合は、無価値</li> </ul>
7	※☆男子F・女子F (無級・初級)	1分00秒	<p>PCSは、SS・PE・INの3項目で評価する。ファクター1.2(全PC共通) 転倒1回につき0.2減点。</p> <p>a) ジャンプ要素 最大4個</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ジャンプ2個で構成されるジャンプ・コンビネーション又はシークエンスを1回含むことができる、第1ジャンプは異なった4種類を含むこと(回転数が異なっても同じ種類とする)。</li> <li>・ワルツジャンプ可(ベースバリュー0.3で認定する)。</li> </ul> <p>b) スピン要素 最大1個 レベルBで評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フライングエントリー可。3回転未満は無価値。</li> <li>・1ポジションのスピン(足換えは自由、基本姿勢で5回転以上)</li> </ul>

※男子D, E, F・女子D, E, Fの競技は、プログラムの後半にジャンプを開始しても基礎値(SOV)を1.1倍しない。

☆本大会では男子F・女子F(無級と初級を統合)は、初級の課題で採点する。

☆ワルツジャンプは男子F・女子F(無・初級)のみベースバリュー0.30で認定する。ノーバリューであってもジャンプの枠は使ったものとする。